

後期高齢者医療保険加入者に対する人間ドック並びにガン検診の
受検推進施策と、併せて検査料助成制度創設に関することについて

要 旨

国民健康保険加入者同様に、75歳以降の後期高齢者医療保険加入者にも人間ドック受検とガン検診の促進対策、並びに人間ドック・ガン検診料の助成制度創設を求める。

理 由

平成19年度まで75歳以上の高齢者は国保組合か、家族の加入している社会健保組合の加入者でありましたが、後期高齢者医療保険法施行で、平成20年度より国保・社保から後期高齢療保に移籍され、介護保険料に次いで後期医療保険料を、今年度からは更に住民税にまで、乏しい年金より天引きと言う、極めて過酷な身辺急迫を余儀なくされている現状です。

大仙市の場合、合併後も人間ドック受検に対しては、75歳以降の高齢者にも国保事業として分け隔てなく2万円の受検料助成を継続実施して参りましたが、後期高齢者医療保険法施行により助成は無くなりました。又、大仙市でのガン検診につきましては、後期高齢者のガン検診が他市町村以上の配慮で実施されている事は承知していますが、現実には後期高齢者の人間ドック受検者数は、75歳以上高齢者総数のわずか2%に満たず、ガン検診受検者も減少が加速しています。

高齢者にとって人間ドックやガン検診受検の必要性は、75歳前の前期高齢者や青壮年層に比して決して軽いものではなく、むしろ却って疾患の早期発見による治療と摂生により死亡率の減少と、病苦から来る悲観による自殺の防止に連動することは明白であります。

今日、ガン死亡率と自殺率が共に全国一位の不名誉な秋田県の現状からも、こうした対策は喫緊の施策の一つと考えます。

因みに、後期高齢者医療保険施行後に於いても、県内25市町村中、湯沢市・能代市・男鹿市・北秋田市・羽後町・東成瀬村の6市町村は、それぞれ人間ドック受検料の助成措置を、湯沢市・三種町・八峰町・東成瀬村は医療機関でのガン検診料への助成、更に湯沢市・羽後町では脳ドック受検料への助成を21年度現在実施されています。（平成21年11月現在、秋田県健康福祉部健康推進課調査）

高齢者の急激な増加が社会保障費の激増を招き、国、地方、市財政にも大きな重荷になっています現状も重々承知致していますが、家庭的に経済的に、生活環境の周辺で何かと弱い立場に置かれているのが高齢者の現状であります。心身両面から高齢者に安らぎをもたらす施策が望まれますので、然るべき措置を早急に講ぜられますよう要請申し上げます。

平成22年2月12日

請 願 者 大仙市大曲金谷町5 - 20
秋田県高齢者福祉支援協会仙北地域支部
支部長 伊 藤 和 夫
紹介議員 藤 井 春 雄
佐 藤 隆 盛

大仙市議会議長 児 玉 裕 一 様